

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼グループCEO 若山 健彦
(コード：6862、東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役CFO 三宅 哲史
(TEL. 03-5733-1710)

(訂正・数値データ訂正)「2025年3月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の 一部訂正について

当社が、2024年8月9日に公表しました「2025年3月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に、一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも提出いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「2025年3月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、訂正いたします。

2. 訂正の内容

【訂正箇所】添付資料2~3ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1) 経営成績に関する説明

[訂正前]

③ ICTプロダクト

テレワークソリューション事業におきましては、据置型会議システム全体において需要が軟調に推移し、また前期後半に取り扱いを開始した新たなデジタル会議システムの立ち上がりが遅れたこと等により、販売実績は前年同期を下回る結果となりました。

デジタル関連機器事業におきましては、第1四半期は例年需要が軟調な時期であることに加え、長引く物価高を受けた生活防衛意識の高まりなどから需要は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,560百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント損失(営業損失)は10百万円(前年同期は1百万円の利益)となりました。

[訂正後]

③ ICTプロダクト

テレワークソリューション事業におきましては、据置型会議システム全体において需要が軟調に推移し、また前期後半に取り扱いを開始した新たなデジタル会議システムの立ち上がりが遅れたこと等により、販売実績は前年同期を下回る結果となりました。

デジタル関連機器事業におきましては、第1四半期は例年需要が軟調な時期であることに加え、長引く物価高を受けた生活防衛意識の高まりなどから需要は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,560百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント損失(営業損失)は16百万円(前年

同期は1百万円の利益)となりました。

【訂正箇所】添付資料10ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

[訂正前]

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			
	デジタルデバイス	デジタルエンジニアリング	ICTプロダクツ	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,437,088	634,889	1,539,733	4,611,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,300	4,225	21,004	90,530
計	2,502,388	639,115	1,560,737	4,702,241
セグメント利益又は損失(△)	361,298	△83,660	△10,667	266,970

(単位：千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	89,363	4,701,074	—	4,701,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,785	92,315	△92,315	—
計	91,148	4,793,390	△92,315	4,701,074
セグメント利益又は損失(△)	△6,892	260,078	△207,381	52,696

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業、ベンチャー投資事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△207,381千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[訂正後]

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			
	デジタルデバイス	デジタルエンジニアリング	ICTプロダクツ	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,437,088	634,889	1,539,733	4,611,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,300	4,225	21,004	90,530
計	2,502,388	639,115	1,560,737	4,702,241
セグメント利益又は損失(△)	361,298	△83,660	△16,775	260,862

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計 算書計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	89,363	4,701,074	—	4,701,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,785	92,315	△92,315	—
計	91,148	4,793,390	△92,315	4,701,074
セグメント利益又は 損失 (△)	△6,892	<u>253,969</u>	<u>△201,273</u>	52,696

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webサイト構築事業・環境エレクトロニクス事業・システム構築、技術者派遣事業、ベンチャー投資事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△201,273千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上